

グルの恩恵の寛大さ

デイビッド・カツ

グループルニマーを祝って

グルの恩恵。グルの導き。グルの存在。グルの英知。グルの慈愛。グルのダルシャン。グルの光。グルの愛。グルの恩恵の寛大さは、比類なきものです。

グルの恩恵は、弟子の人生に変容が起こるために必須のものです。「変容」

これは普通の変容ではないことを理解してください。それは弟子を暗闇から光へと、偽りから真理へと、死する運命から不滅へと、連れて行く変容です。この変容について理解している人は誰でも、この変容を体験した人は誰でも、自分の残りの人生を、シュリー・グルに敬意を表して過ごすでしょう。そして、そのようにして、グルと弟子の関係は続きます。

この変容の過程を通して、私たちは、人間の創造力のみで企てることのできるどんなものよりも、より鮮やかに、より美しく世界を体験することを可能にする英知を受け取ります。私たちの存在とあらゆる創造物を満たす神聖な輝きを、私たちは直接知るようになります。それは私たちに、世界の中での新しい在り方を与えます。

この素晴らしい光が私たちの人生に浸透する時、私たちはその光輝に、そしてそれが私たち自身と世界についての理解をいかに変容させるかに驚嘆します。そしてそれから…そしてそれから…そしてそれから、私たちは——「自由」になります。

考えてください。「私は自由である」

想像してください。「私は自由である」

感じてください。「私は自由である」

思い出してください。あなたの本質そのものが自由です。自由はあなたのよりどころです。そして、この自由を発見することは、あなたの、まさにレゾンデートル——この人生の目的、あなたの「存在理由」——です。

そのことについて考えてください。「自由」

私たちが自分に生まれつき備わっていたものとして認識するようになる、この新たに見つけた自由は、グルの慈愛から生じます。グルは無知のベール——幾度もの人生で蓄積してきたベール——を奪い取ります。この幻想の奪取は神秘的な旅です。そしてそれは、グルと弟子との関係の内なる働きの核心です。弟子がこの奥深い過程に対してどのように準備し、理解するかは、良いカルマ、意欲、そしてムムクシュトウワ——熱烈な学び、真理についての知識への強烈な熱望——次第です。そしてその間ずっと、いつも、グルの恩恵は常に存在しています。

この旅が続くにつれて、弟子の存在は成熟します。彼らの意識の領域は、より豊かになります。新たな、さらに一層深い成長が起こります。

この世界の内側と外側についての弟子の理解の成熟は、ディヴィヤ・チャクシュ、すなわち神聖な視点、というグルの贈り物の成果です。

神聖な見方というグルの贈り物は、世界を新たな目で見て、その本質的な価値を認識する方法を私たちに与えるものです。

私たちがサーダナーに専心し、至高なる自己の知識を探究する時、グルは私たちを、この視点を自分のものとするように育んで導きます。

「変容」。「自由」。私たちはシュリー・グルに敬意を表します。

シッダ・ヨーガの道では、変容が起こると、私たちは自分自身の自由を再発見します——何か特別なことが私たちの心の中で起こります。それを、バクティと呼びます。バクティ、愛の泉が湧き出ます。

それは、有益ではないかもしれない自分のやり方を変える努力を促すような愛です。

私たちが行うことを、より良くするよう、もっと良くなるように鼓舞するような愛です。

私たちが本当は誰であるかに忠実であるように前進させるような愛です。

私たちを謙虚さの道に、他者を受け入れ、彼らの信念を尊重する道へと導くような愛です。

与えて…与えて…心から与えて、人々がグルの教えを受け取る手助けをし、それらの教えが人々の人生に根付いてほしいと——そして、それらの人々が精神的な豊かさを体験してほしいと——私たちに思わせるような愛です。これが、グルの視点です。

グル・バクティは、グルと弟子の関係がその上に築かれるものです。「グル・バクティ」

私たちはシュリー・グルに敬意を表します。

8世紀のインドに生きた偉大な賢人アーディ・シャンカラチャーリヤは、グルへの献身について教えました。シャンカラチャーリヤは悟りを得た存在であり、精神の師であり、その教えや解説の中でヴェーダの知識を抽出しました。彼は弟子を四方に——東西南北、インド中に——この知識を人々に授けるために送りました。そして今日まで、探究者たちはシュリー・シャンカラチャーリヤの教えを崇敬し、学び、それらから恩恵を受けています。

彼の「グロール・アシュタカム」、すなわち「シュリー・グルをたたえる8詩節」の中で、シャンカラチャーリヤは言います。

ヴェーダとその六つの付属するもの、
そして教典の知識が
口の端に上るかもしれないし、
文学的才能を持ち、
素晴らしい散文や詩を作るかもしれないが、
もしそのマインドがグルのハスの足に定まっていなかったら、
それがどうしたというのか、それがどうしたというのか、それがどうしたというのか。

この詩でシャンカラチャーリヤは、グル・バクティを不可欠なもの——この人生での真の達成に不可欠なもの——として称賛しています。それは、マインドの焦点を「グルのハスの足」に定めること、として表現されています。インドの教典では、グルの足はチャラナ・カマラ、「ハスの足」と呼ばれます。ハスは最高の精神的知識の象徴でもあります。教典はまた、グルの足はあらゆる精神的知識の宝庫で、すべての祝福の源であると言っています。チャラナ・カマラ。

「変容」。「自由」。「グル・バクティ」。私たちはシュリー・グルに敬意を表します。

では、さらにもう一つの美しいサンスクリットの言葉に、あなたの注意を促したいと思います。

あなたの心が奥深い献身を体験している時、心の自然な傾向はどのようなものでしょうか。

「アルパナ」

アルパナとは、「ささげ物」という意味です。それはまた、ささげる行為も指しています。サンスクリット語では、この言葉は返還（還元）の概念——そして意図を持ってそれを行うこと——に関連しています。ですからアルパナは、明確な意図と安定した献身をもってなされるささげ物として理解できます。

アルパナは、インドにおけるあらゆる形の崇拝に不可欠なものです。それはプージャの根幹となる側面であり、火の儀式——ハヴァンやヤグニャ——には必須の要素です。この儀式の間、ブラーミンの司祭はさまざまな形でアルパナ、すなわちささげ物をします。プシュパ・アルパナムは花のささげ物、パラ・アルパナムは果物のささげ物、ディーパ・アルパナムは光のささげ物、ナイヴェーディヤ・アルパナムは食物のささげ物、ナマスカーラ・アルパナムは敬意のささげ物。マントラ・アルパナムは神聖なマントラのささげ物。まだまだあります。実に多くのささげ物の形があります。

これらの神聖なささげ物の中心——それらを促進させ、力を与えるもの——には、真にアルパナを定義する、内なる境地あるいは姿勢、すなわちバーヴァがあります。アルパナは、私たちの最良のものを——神に、グルに、私たちの愛と信頼を置いた存在に——ささげることです。それは、与えることに対する私たちの最高の可能性の表現であり、私たちは自分の位置をその自然な与えることと受け取ることの循環の中に置くのです。

『リグ・ヴェーダ』では、宇宙はささげることによって維持され、ささげることを通して神聖な秩序——リタ——が世界に現れ、維持されると教えます。リタ。私たちはこれを、存在のあらゆるレベル——惑星そのものから、ごく微細で原子より小さいものの領域に至るまで——で見ることができます。

例えば、種子のさやが新しい命を生み出すのはただ…ただ何でしょう？ それが元の大地にその種子をささげ返すことでのみです。土砂降りの雨が降り、海や川、湖や小川は水を受け取ります。そしてそれらはお返しに、雨雲となる水蒸気として空に還元します。

必然的に、厳然と、与えることと受け取ることの自然な循環は続きます。私たちは——人間として、地球の豊かさを受け取る者であると同時にその健全さを守る者として、自分自身が自然の一部として——与えることと受け取ることの自然な循環に調和して生きることを選べるのです。

この気づきと共に、この理解と共に、この世界における私たちの位置への喜びあふれる受容と献身と共に、私たちはシュリー・グルに敬意を表します。

私たちは覚えています。

アヌグラハ——グルの恩恵

カーヤ・カルパ——私たちの全存在の変容

スワタントラター——その変容を通して再発見する自由

グル・バクティ——私たちの心の泉から湧き起こるグルへの献身

アルパナ——ささげること

私たちはシュリー・グルに敬意を表します。

サッドグルナートゥ・マハーラージ・キー・ジェイと言うたびに、私は彼女が私の心の中に座していることを想像し、私のシュリー・グルに敬意を表していることを、私のあいさつと感謝を彼女にささげていることを感じます。

このヒンディー語の言葉はシッダ・ヨーガの道で非常に大切にされ、その意味は、「真のグルに万歳」です。

では、大いなる自由と喜びをもって、皆でこの言葉を歌うことで、私たちの敬愛するシュリー・グルに敬意を表しましょう。サッドグルナートゥ・マハーラージ・キー・ジェイ！

